

# グリーンマウンテンへのトレイル

## コスタリカにおけるトレイルカルチャーの道筋を探る



# 先駆者たち

ウォータービルバレー  
ニューハンプシャーのホワイトマウンテン



ウォータービルバレーにてハイキング  
ニューハンプシャーのホワイトマウンテン  
1890年

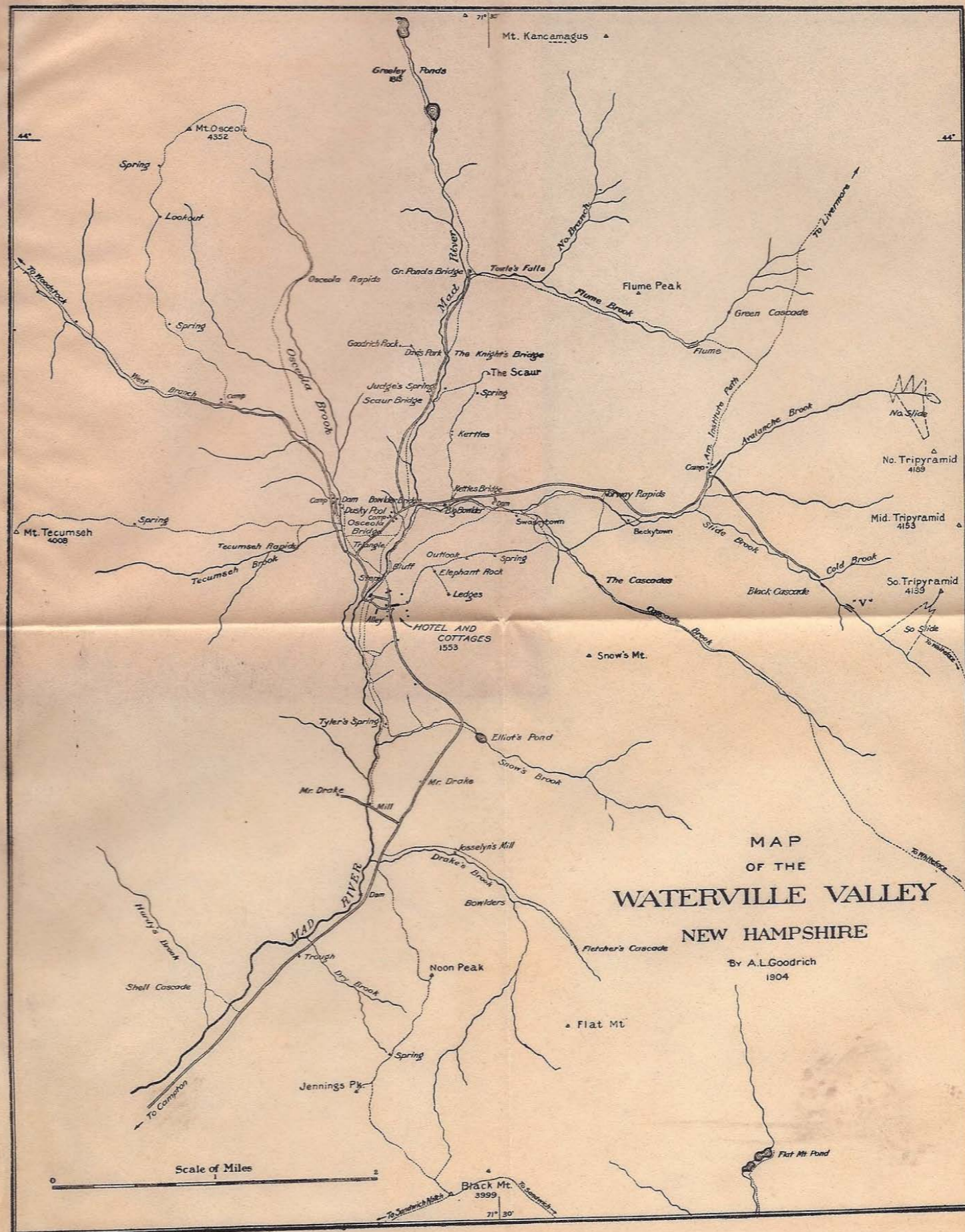


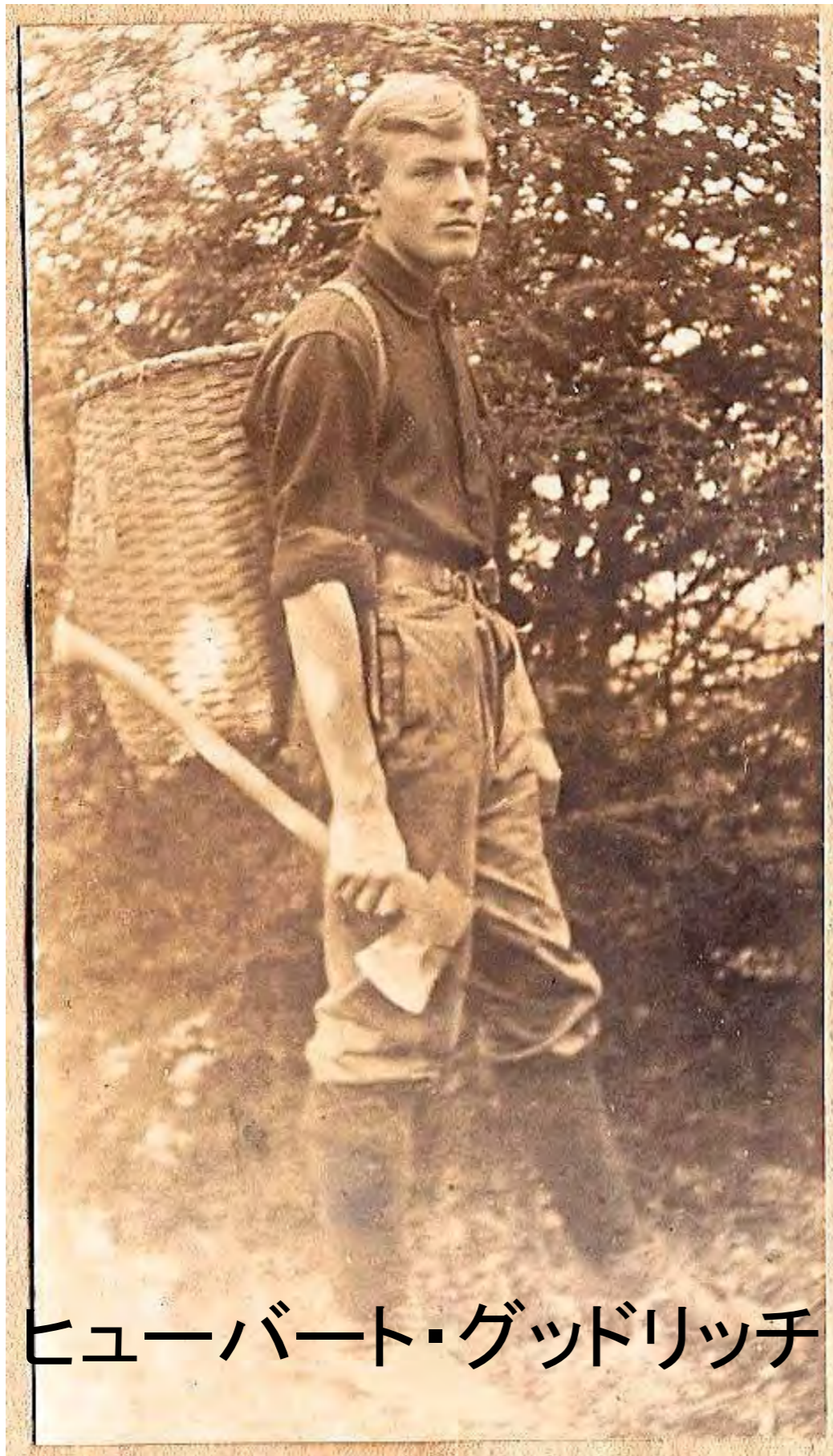
# アーサー・ルイス・グッドリッチ



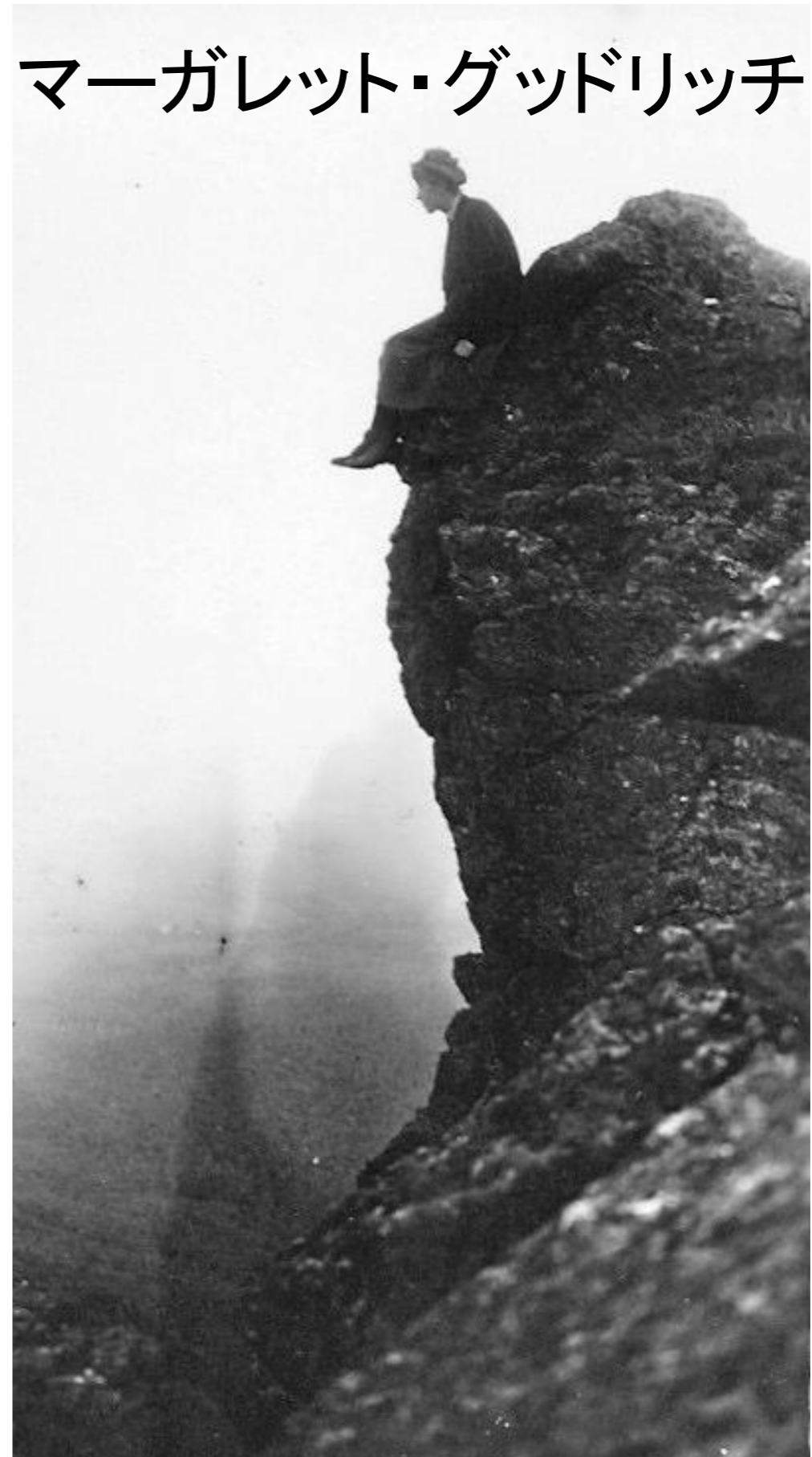
(合衆国内で)南北戦争以前にハイキングトレイルとしての真のシステムが整備された一例がウォータービルバレーだ。この地で育まれた一群の道、すなわち北東部初のトレイルシステムには、静かで小さな“道の奥の町”特有の性質が表れている。

ローラ・ウォーターマン、ガイ・ウォーターマン、Forest and Crag(森と岩山)





ヒューバート・グッドリッチ



マーガレット・グッドリッチ

# The Attractions and Rewards of Trail Making

NATHANIEL L. GOODRICH

Reprinted from APPALACHIA, Vol. XIV, No. 3

## ナサニエル・グッドリッチ

トレイル造成には3つの段階がある。トレイルを思い描く、トレイルを調査する、トレイルを造る、という3段階だ。

新たな世紀を迎える頃、熱意に燃える3人の若い登山家がトレイル造成の醍醐味を初めて味わった地がウォータービルだ。ポール・R・ジェンクス、チャールズ・W・ブラッド、ナサニエル・グッドリッチ(アーサー・ルイスの息子)。この3人の名を心に留め置いていたきたい。ジェンクス、ブラッド、グッドリッチは、後に北東部で最も精力的かつ熟練したトレイル界三傑となる男たちだ。

ローラ・ウォーターマン、ガイ・ウォーターマン、  
Forest and Crag(森と岩山)



# ラファイエット登山、1930年





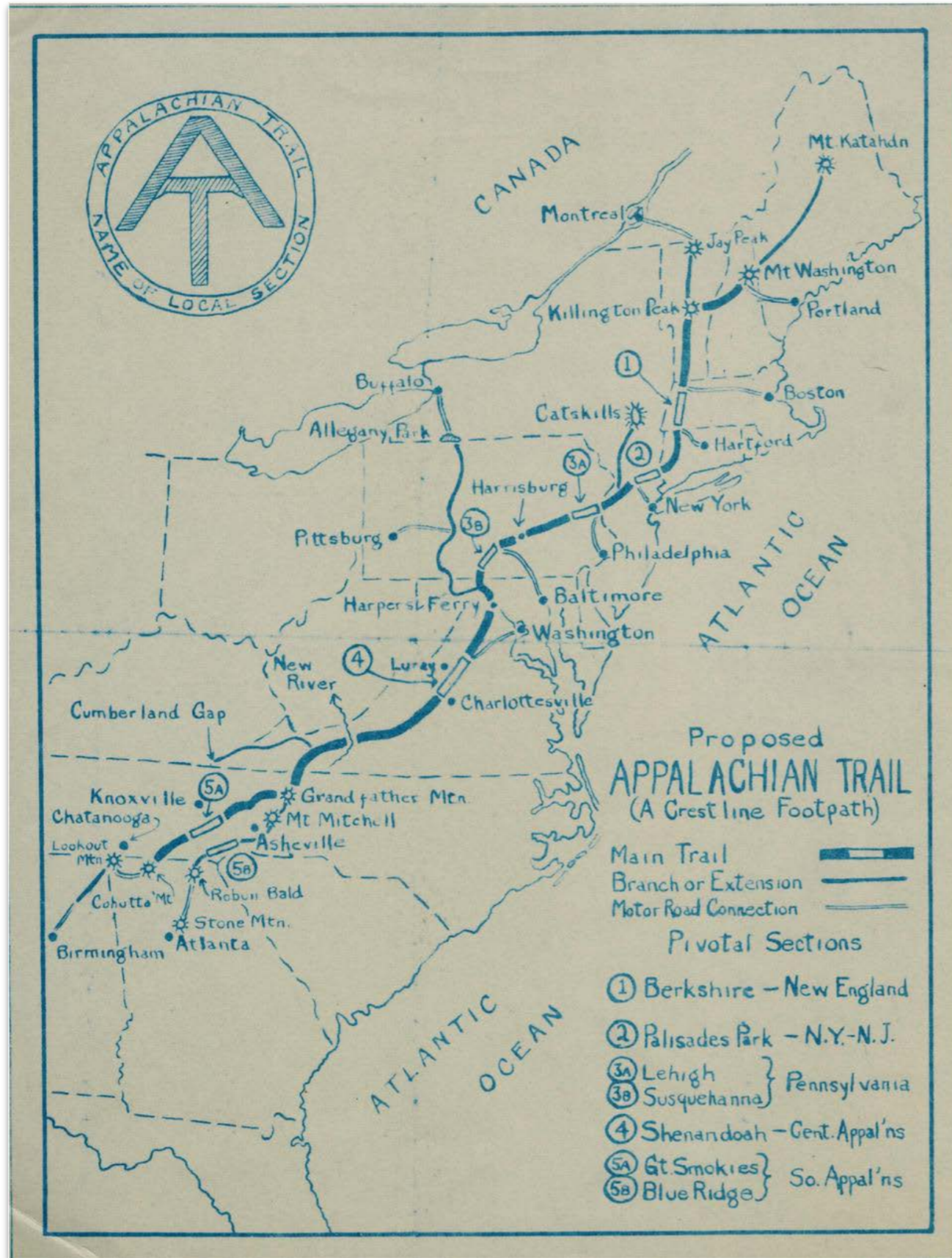
ラファイエット山、フランコニア・リッジでトレイル整備作業、2016年  
アパラチアン・トレイルの一部





ベントン・マッケイ

# アパラチアン・トレイル、3,500km



## アパラチアン・トレイルとは？

ニューイングランドからジョージアへ続くアパラチア山脈に沿ってレクリエーションを備えたコミュニティを配し、ウォーキング用トレイルで結ぶプロジェクト。アウトドアと結び付いたコミュニティをより広範かつ体系的に開発するための基盤を築くことを目的とする。いわば住宅供給とコミュニティ建築のプロジェクトだ。

ーベントン・マッケイ、An Appalachian Trail: A Project in Regional Planning (アパラチアン・トレイル：地域計画プロジェクト)

## アパラチアン・トレイルとは？

原生山岳地帯を測量して地図に起こし、トレイルラインを区切るとよいだろう。高地を走るメイントレイルを低地からの進入路となる“アプローチ・トレイル”と連携し、必要な枝道を確保するのだ。出発点はふもとの集落に配したい。この地本来の環境の半分はこの村々にあるのだから。

ーベントン・マッケイ、Outdoor Culture, The Philosophy of Through Trails  
(アウトドア文化、スルードレイルの哲学) 1927年1月、  
ニューイングランド・トレイル・カンファレンスにて発表

# アパラチアン・トレイルとは？

- レクリエーションを備えた一連のコミュニティ
- 原生山岳地帯
- ウォーキング用トレイルで繋がる（ライン）
- “アプローチ・トレイル”で連携する（トレイルシステム）
- アウトドアと結び付いたコミュニティの体系的な開発
- 住宅供給とコミュニティ建築のプロジェクト

## センデロ・パシフィコのビジョン

- ・モンテベルデ地域のクラウド・フォレストとニコヤ湾のマングローブ林を結ぶ、ハイキングトレイルと山小屋のネットワークを形成する。
- ・トレイル開発は、ベルバード生物回廊エリアを中心に行う。
- ・トレイルは入場料不要で利用可能とする。
- ・主だったトレイルに加え、二次的に付随するトレイルも含み、生物回廊のより広範なエリアを対象とする。
- ・このトレイルにより自然保護区だけでなく地域住民のコミュニティも結び付ける。
- ・コミュニティ住民がトレイル開発と維持に携わる。

# センデロ・パシフィコの意義

コミュニティ

レクリエーション

教育

保全



# センデロ・パシフィコの意義

コミュニティ

レクリエーション

教育

保全